

川崎市市制100周年 ニュースレター



100周年の、その先へ。 101年目の挑戦を、さあいっしょに。

多くの市民・企業・団体の皆様とオール川崎市で取組を進めてきた市制100周年記念事業、川崎を「知って、関わって、好きになる」多彩な記念事業が年間を通じて市内全域で展開され、多くの市民の皆様と100周年を祝うとともに、新しい魅力や価値、つながりを生み出しました。今号では、そんな市制100周年の様々なイベントや取組を振り返るとともに、「全国都市緑化かわさきフェア 春開催」をはじめとした100周年のフィナーレを飾るイベントや、「あたらしい川崎」を生み出すチャレンジを続ける協賛企業・団体の取組を紹介していきます。



発行 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
(実行委員会には約400の企業・団体が参画し、オール川崎市で取組を進めています)

問合せ 事務局 川崎市総務企画局シティプロモーション推進室
TEL 044-200-1217 E17skinen@city.kawasaki.jp



市制100周年
公式ウェブサイト



全国都市緑化かわさきフェア
公式ウェブサイト

「知って、関わって、好きになった」市制100周年

2024年7月1日に市制100周年を迎えた川崎市。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきたたくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来へつないでいくため、多様で多彩なアクションが年間を通じて市内全域で展開されました。約400の企業・団体で構成される実行委員会が主体となって開催した実行委員会主催事業を中心に市制100周年を振り返ります。



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

先人への感謝とともに市制100周年を迎えた喜びを多くの市民と分かち合いました
「記念式典」「かわさき飛躍祭」の開催!

市制100周年記念式典 7/1(月)

ミュージア川崎シンフォニーホールで開催した記念式典では、歴史を振り返る記念映像の上映、市の発展に寄与された方への表彰のほか、この日のために結成したオーケストラ・合唱団による記念演奏を行い、御招待した市民や来賓の皆さまと共に100周年を迎えた喜びを分かち合いました。式典の様子や記念映像をYouTubeで配信しています。



記念式典
アーカイブ映像



市制100周年
記念映像



かわさき飛躍祭 6/29(土)

等々力緑地一帯で開催した100周年の祝賀イベント「かわさき飛躍祭」。川崎ゆかりのアーティストが集った「かわさき100フェス」、「川崎フロンターレ」の市制100周年記念試合、スポーツ体験・食のイベントにブルーインパルス・展示飛行が花を添え、等々力緑地一帯は約18万人の来場者で賑い、多くの方に最高の1日の記憶と体験を残しました。



かわさき100フェス Sakata Yoshihiro (THINGS)

たくさんのイベントを開催してみんなで市制100周年を盛り上げました
「Colors,Future!Summit」「みんなの川崎祭」「全国都市緑化かわさきフェア(秋)」などを開催!

Colors,Future!Summit 2024

11/2(土)・3(日)



「まち」と「社会」の未来を考える産官学共創イベントを市役所本庁舎やラゾーナ川崎プラザ等で開催。川崎の未来を考えるきっかけとなる14のトークセッションが展開された「カンファレンス」と「おいしい未来」が体験できる「フェスティバル」が行われ、川崎の魅力やポテンシャルを広く発信しました。101年目となる次回も「未来を考える」このイベントを継続開催していきます。



カンファレンス
アーカイブ映像



全国都市緑化かわさきフェア(秋開催)

10/19(土)~11/17(日)



国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化かわさきフェア」(秋開催)が、10月~11月に富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3つのコア会場を中心に行われました。各会場では、コンセプトに合わせて趣向を凝らしたメインガーデンをはじめ、グルメやステージイベントなど、誰でも楽しめる盛りだくさんのイベントが展開され、約94万人の来場者で賑いました。



みんなの川崎祭 11/3(日)



歩行者空間にした市役所通り6車線に音楽・スポーツ・食・アートなどを大集結させて開催した「みんなの川崎祭」。快晴の青空に恵まれ、11万人の来場者は、それぞれお気に入りのコンテンツを見つけ、居心地の良いウォーカブルな空間を楽しみました。100周年をきっかけに川崎の秋の風物詩となりつつある「みんなの川崎祭」、101年目の「みんなかわ」も楽しみにしてください。



〔提案型事業〕まんなかフェス 9/28(土)・29(日)

武蔵小杉でママや家族も安心して楽しめる場所・機会をつくりたいという思いで実施された「まんなかフェス」。市内で活躍するハンドメイドショップや飲食店を集めたマルシェ、100周年のメモリアルな機会をみんなで一緒に祝うパレードを実施しました。



〔提案型事業〕子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト 11/16(土)・17(日)

ドイツやウクライナの子どもや全国の子どものまちの代表を招待し、それぞれの地域の子どもの取組を紹介しました。また、同時開催されたこどものまち仕事体験イベント「ミニたまゆり」には多くの子どもたちが参加し、市内の様々な企業の仕事を体験しました。



ここから未来プロジェクト

溝口駅前キラリデッキに誰も
が音楽やダンスを楽しめるス
テージが誕生。11月9日(土)に
はこけら落としイベントを開
催。地元のダンススクールの発表など14組
の出演者がステージのオープニングをかざり
ました。これからも地域に愛される場所にな
るよう取組を進めていきます。



ここから未来
プロジェクトHP

みどりの共創プロジェクト

かわさきフェアの開催を契
機に9つの企業・団体の共創に
よる、みどりとふれあい、コ
ミュニティをはぐくむ取組がス
タート。年間を通じて、みどりに触れる様々な
体験を提供しています。新たに立ち上げた団
体「midori-ba」が仲間を増やしながらみど
りで人をつないでいきます。



公式Instagram

かわさき脱炭素プロジェクト

市民や事業者が環境に良いアクションを起
こす文化やライフスタイルの形成を目指す脱
炭素プロジェクト。先行的取組として「宅配再
配達削減」の推進・普及に取り組み、6月～8月
にかけて、宅配便ロッカーの利用を促進する
キャンペーンを実施しました。



ラッピングされたオープン型宅配便ロッカー
PUDOステーション

もうすぐ100周年もフィナーレ!市制100周年を未来へつなぐ取組を進めています

「未来っていいな☆まつり～夢を集めて川崎100周年～」 「全国都市緑化かわさきフェア(春)」などを開催

未来っていいな☆まつり～夢を集めて川崎100周年～

いよいよ市制100周年がフィナーレ!ドラえもんたちと一
緒に歩く参加型のパレードをはじめ、未来を体感するブース
や藤子・F・不二雄作品キャラクターのスタンプラリーなど、
市制100周年の取組を未来へつなぐ様々なコンテンツを実
施します。



- 日時 3月29日(土)・30日(日) 10時～17時
※パレードは両日とも、11時・13時30分(各30分程度)
- 場所 等々力緑地 催し物広場

詳細はWEBサイトで→



全国都市緑化かわさきフェア

春開催



3月22日～
4月13日
お越しください!

詳しい情報を
8面に掲載して
います。

企業・団体・市民による取組が市制100周年を盛り上げています

オール川崎市で盛り上げた市制100周年。100周年の実行委員会に参画する企業・団体や市民による自主的な事業が記念事業期間
を通じて“400”も実施され、市制100周年を盛り上げました。こうした取組の中からこれから行なわれるイベントを紹介します。

川崎市市制100周年・ミュージア川崎シンフォニーホール20周年記念 かわさきシンフォニー・ポップス 3/22(土)

東京交響楽団が贈る誰も見たこ
のないアツいステージ!川崎市にゆか
りのある他ジャンルのアーティストと
コラボレーションするコンサートで
す。指揮:原田慶太楼、ヴォーカル:岡
幸二郎、プレイキン:Shigekix, The
Floorriorz。曲目は映画「ハリー・
ポッター」、映画「スター・ウォーズ」ほ
か。詳細やチケット情報はHPで。



←詳細や
チケット情報は
こちら

はまぎんおかねの教室 3/8(土)

横浜銀行が市制100周年記念事業として、J-FLEC
(金融経済教育推進機構)と共催でイベントを開催。
親子で楽しく学べる「はまぎん おかねの教室」、保護
者向け資産形成セミナー、子ども向け模擬店舗見学
と盛り沢山です。参加者には「はまペン おこづかい
ちょう」をプレゼント!申込先着順。 詳細はこちら→



まだまだ
続く

100周年事業の情報は
公式ウェブサイトをチェック



Colors, Future! Actionsをこの先も

市制100周年の1年間、市民、企業、団体、川崎市のオール川崎による様々な取組を「Colors, Future! Actions」と総称し、多様で多彩なア
クションを次々と生み出してきました。こうした100周年の取組を通じて生まれた多彩な事業、市民・企業・団体同士のつながり、川崎へ
の愛着と誇りを活かして、100周年記念事業後も「多様性」をまちの誇りとして、100周年で生み出された成果を継続・発展させて「あたら
しい川崎」を生み出していくチャレンジを進めていきます

① 100周年記念事業を契機として生まれた多彩な事業

×

② 自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民・企業・団体等とのつながり

×

③ 川崎を知って、関わり、好きになり、向上したシビックプライド

継続・発展

あたらしい川崎

様々な人たちが
川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、
つながりあいながら
未来にチャレンジするまち



川崎信用金庫

地元の「逸品」物産展イベントは大盛況！101年目の「かわしん」から地域への「おんがえし」

2023年に創立100周年を迎えた川崎信用金庫は2024年11月、物産展イベント「かわむすのおんがえし」を開催。101年目の新たなスタートを切った川崎信用金庫が「地元への「おんがえし」」として感謝を込めて実施しました。会場には、18店舗の個性あふれる商品が並び多くの来場者で賑わいました。

魅力ある地元企業を知ってもらう機会に 「地域の人に地元のお店の魅力を知ってもらい、PRや売上促進につながれば」と開催した今回のイベント。参加した市内外のお店を多くの方に知ってもらえる機会となり、また、選りすぐりの商品を景品とした抽選会も地元産商品のPRに繋がりました。

次世代にお金の大切さを伝えて イベント初日には、中学生がカードゲームで資産運用を学ぶ「かわしんマネーセミナー」も行いました。普段から、地域の金融機関として中学生などに資産運用の大切さを伝える取組も行う同信金。今回のセミナーは、カードゲームで楽しみながら資産運用のイメージが身につく内容で、参加者は、お金、金融、資産形成の初歩の初歩を体験しました。

この街のベストサポーターであり続けるために 昨年度の創立100周年を機に、「お客さま」「職員」「金庫」「地域」の「未来」に続く共存共栄を新たな経営理念として制定した川崎信用金庫。「この街のベストパートナー」であり続けるために、中小企業の販促売上支援など様々な経営サポートから、若年層への金融教育、地域を盛り上げる貢献活動まで多彩な取組を通じ、川崎とともに発展を続けます。



物産展イベント「かわむすのおんがえし」



自慢の逸品を来場者が投票で選ぶ「逸品グランプリ」表彰式



三井不動産株式会社

「しんゆり」と歩んで半世紀、持続発展可能なまちづくりに挑む三井不動産

三井不動産は1964年から百合ヶ丘地区の開発に着手。約半世紀にわたって地域のまちづくりに携わり、現在は地元有力者の要望を受け、小田急電鉄とともに地域活動をまとめる事務局の役割を担っています。

地域のまとめ役「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」 「しんゆり」の愛称で知られる新百合ヶ丘。しんゆりの魅力を発信し、まちの活性につなげていく活動を推進するのが「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」です。マルシェやイルミネーションなど様々なイベントが年間を通じて行われており、このまちに関わる人が一体となって「しんゆりブランド」を作り上げています。「つどい・つながり・めくるめく〜みんなが輝くしんゆりへ〜」をテーマに、様々な地域活動をまとめて運営していくことで、持続的に発展する魅力あるまちづくりを目指します。

100周年を機に麻生区から川崎を盛り上げる 2024年は市制100周年であることから、地域をさらに盛り上げるために通常のイベント拡充や新たなイベントを企画。10月は「麻生区の「推し」絵画展」や「ナイトマルシェ」などを実施し、2月には「あさおの川崎100周年祭」と銘打ち、川崎市に縁がある「ゴジラ」をテーマに市制100周年コンサートや上映会などを開催。麻生区をあげて市制100周年を盛り上げました。

三井不動産は、市制100周年で強まった地域のつながりを活かし、今後も持続的なエリアマネジメント活動を行うことで、しんゆりの魅力をさらに伸長させ、サステナブルなまちにするための取組を推進します。



来場者で賑わうしんゆりフェスティバル・マルシェ



麻生開発事務所の内藤さん(左)と池内さん(右)



富士通株式会社

次の100年に向けた「あたらしい川崎」に、地域に根差したテクノロジー企業として貢献

富士通株式会社のパーパスは、イノベーションによって社会に信頼をもたらす、世界をより持続可能にしていくことです。その実現に向けて、世界中の富士通社員が力を合わせ、地球環境問題の解決、デジタル社会の発展、人々のWell-beingの向上というマテリアリティに取り組んでいます。

量子コンピュータ Fujitsu Technology Park (旧川崎工場:2024.4に名称変更)に建設されるのが新たに発表された世界最大級となる1000量子ビット超の量子コンピュータを設置するための研究開発施設「量子棟(仮称)」。

これからの100年に向けて 富士通は今年で創業90年、12万4,000人を擁するグローバル企業です。そして、2024年の本社移転を機に、Fujitsu Technology Parkは、最先端のテクノロジーとイノベーションの創出拠点として生まれ変わろうとしています。各種行政機関や、近接する等々力緑地の再編整備実施計画とも連携しながら、次の100年に向けた「あたらしい川崎」に向けて、地域に根差したテクノロジー企業として貢献していくことが、富士通の使命であると思っています。



富士通研究所 量子研究所
シニアディレクターの近藤正雄さん



総務本部 エリアマネジメント統括部
シニアディレクターの松本幸子さん

「Colors,Future! いろいろって、未来。」多様性こそが川崎の発展の源泉。これまでも多彩な「色」が重なり合うことで、様々な価値を生み出してきました。そして市制100周年という歴史的な節目を、次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくスタートラインとして、市民・企業・団体の皆さまと共に取組を進めています。こうした市制100周年記念事業の趣旨に賛同し、御協賛をいただいた企業・団体(プラチナパートナー・ゴールドパートナー)の取組を紹介します。

ウェブサイトでは協賛企業・団体の取組を詳しく紹介しています➔



和光産業株式会社

環境先進企業で創業100年に向けワクワク

地元川崎を中心にビルメンテナンス業を展開する和光産業は、1960年に川崎区大島で雑貨商としてスタート。様々な顧客の要望に応じていく中で、今では清掃、設備管理、警備などの事業を手掛け顧客の信頼を築いています。

未来の子もまたにきれいな地球を 環境配慮のビルメンテナンスを実践する和光産業。独自の特許技術で開発した「ワックス・グリーンクリーニング」は、水研磨でワックスを剥離、そこで発生する廃液を、おう吐物凝固剤の原料へリサイクルする資源循環型サービスで、「ワックスリサイクル」と「ワクワクする」という意味を掛け合わせています。また、市内小学校などへの出前授業にも力を注ぎ、ワックス塗布や廃液処理などの実験で環境配慮の大切さを子どもたちに伝えています。

麻生区内学校施設包括管理業務 2024年からは、麻生区内24校の維持管理や修繕等に取り組む「麻生区内学校施設包括管理業務」を受託し、設備の不具合や簡易工事に迅速に対応。現在の麻生区だけでなく、全市展開のロールモデルとなっていくことを目指して事業に取り組んでいます。

創業100年を目指して川崎を盛り上げる 地域になくはならない環境先進企業として成長を続ける和光産業では、近年、川崎のプロスポーツチームのサポートに力を入れ川崎を盛り上げるとともに、子どもたちから選ばれる100年企業を目指し、未来への取組を進めています。



ワックスの剥離作業



矢口業務管理副本部長(左)、矢口社長(中)、中西常務(右)



東急不動産ホールディングス

東急不動産ホールディングス株式会社

「WE ARE GREEN」東急不動産ホールディングスが進める未来への第一歩

国内で保有するオフィスビルや商業施設の再エネ100%を達成するなど、より良い自然との共生を目指す東急不動産ホールディングス。市制100周年記念事業でも様々な取組を進めました。

市制100周年記念事業への参画 「Colors,Future!Summit2024」では、ラゾーナ川崎プラザにブース出展し、生活習慣・栄養・体力チェック、間伐材や廃油を利用した子ども向けクラフト製作、食べられる花「エディブルフラワー」のプレゼントを行いました。また緑化フェアでは、会場の富士見公園へ楽しく歩いてもらう仕掛けとして市役所本庁舎に移動式プラネタリウムを設置し、来場者楽しんでいただきました。

指定管理業務を通して地域の公園を市民に還元 グループ会社の石勝エクステリアは大師公園や緑化センターなどの指定管理を担っています。その業務は設備管理、草刈り、来園者対応からイベント開催の企画運営まで多岐に渡ります。地域の人材が活躍し、スキルを発揮してもらうことも役割の一つ。地域の方々のチャレンジを応援できる場の提供を目指しています。

「WE ARE GREEN」 東急不動産ホールディングスでは「WE ARE GREEN」をスローガンに、「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」を目指し、環境経営を推進しています。グループ各社の多様な取組を通して、まちで暮らす方々が緑を身近に感じ、健康で笑顔のある幸せな生活を送っていただけるような環境をこれからも提供し続けていきます。



グループソリューション推進部の榎村さん(左)、沼澤さん(中)、石勝エクステリアの多賀さん(右)

小田急電鉄株式会社



小田急電鉄が進める「子育て応援」が、まちに笑顔と活気をもたらす!

新宿から箱根の玄関口小田原や江ノ島までをつなぎ、通勤・通学だけでなく観光路線としても親しまれている小田急電鉄。「子育てしやすい沿線」を目指した様々な取組を進めています。

50以上のブースが登場、親子で賑わったフェスタ 12月7日と8日には、子どもから大人まで楽しめる一大イベント「おだきゅうFamilyFunフェスタ2024」を開催。川崎市をはじめ小田急沿線の自治体、全国の鉄道会社やバス会社など50以上ものブースが出展し、多くの親子連れで賑わいをみせました。

子育て応援のシンボル、マスコットキャラクターの「もころん」 小田急電鉄の子育て応援マスコットキャラクター「もころん」は、子育て応援のシンボルとして2023年8月に登場しました。各イベントに登場したり通勤車両の全面にラッピングされたりと、うさぎをモデルとした親しみのある姿で人気が高まり、フェスタのイベント会場を歩く「もころん」の周りには、大勢の子どもたちの姿が見られました。

「小児IC運賃50円」などの施策で子育て世代をサポート 「小児IC運賃50円」は、多くの子育て世代の支持を得て利用者が増加しています。また、お子さま連れでも安心して利用できる車両の導入や、沿線の子育て情報満載のサイト運営など、様々な施策で子育て世代を強力に支援しています。

登戸駅、向ヶ丘遊園駅や新百合ヶ丘駅でも、まちづくりが進められており、小田急電鉄は今後も川崎市などと連携を深め、未来を担う子どもたちが将来誇りをもって暮らせる沿線を目指して取組を推進します。



「おだきゅうFamilyFunフェスタ2024」イベント会場



「もころん」と交通企画部の秋山さん(左)、佐藤さん(右)



JAセレサ川崎

市制100周年を祝う「田んぼアート」。親子でにぎわい「都市農業」の魅力発信！

2024年秋、麻生区岡上の田んぼでJAセレサ川崎が企画した市制100周年を祝う「田んぼアート」が披露されました。色合いの異なる2種類の稲穂が実り、浮かんだ文字は「祝川崎市100th by JA」。

稲刈り体験に、親子連れら130人 そして迎えた10月12日の収穫の日、事前に体験申込をした約130人の親子連れらが田んぼに集結。初めは不安そうな表情で恐る恐る鎌を持っていた子どもたちも徐々に慣れ、上手に稲が刈れると笑顔が弾けました。今回の田んぼアートで収穫した480kgのお米は、市制100周年に関連するイベントなどで振る舞われました。

都市農業の魅力を、次の100年に—— 都市農業の課題の一つは「農地の維持」。市内の農地も減少の一途をたどっており、その主な要因は後継者不足です。一方で、農地と消費者が近いのが都市農業の魅力、市民を農業に巻き込み、新たな展開や可能性も秘めています。まさに、田んぼアートもその一つです。JAセレサ川崎では、市民と共存しながら子どもたちにも農業を知ってもらえたらと、職員が出向いてジャガイモやサツマイモなど野菜の栽培体験や稲作体験を実施するなど、小学校や地域住民を対象とした食農教育にも力を入れています。未来の消費者となる子どもたちに農業の魅力を伝え、身近に感じてもらうと取組を進めるJAセレサ川崎。「持続可能な都市農業を残そう」を理念の一つに掲げ、「次の100年も、農業をいかした川崎であってほしい」と願っています。



ドローンで撮影した「田んぼアート」



市民による稲刈り体験

三菱化工機株式会社 創業の地・川崎で、水素社会の実現に向けて尽力

三菱化工機は1935年に創立。川崎に本社を置き、幅広い分野での装置・設備の設計・製作・建設に携わり、水質汚濁・大気汚染防止などの環境分野や、産業機械、石油、電力、化学、医薬、食品、半導体、水処理など事業は多岐にわたり、水素関連の事業にも約60年前から取り組んでいます。

注目の水素を使った電力供給「水素吸蔵合金配送システム」 かわさきフェア(秋)の富士見公園会場で、水素で電力を供給し、植栽を維持している一角がありました。このシステムは「水素吸蔵合金配送システム」と呼ばれるもので、高純度の水素を専用タンクに貯めて電気が必要な場所へ運び、燃料電池を使って電力を供給する仕組みです。タンクに貯蔵した水素は減らない特性があり、防災時に役立つアイテムとしても期待されています。また11月3日に㈱DeNAが多摩川見晴らし公園でストリートカルチャーをテーマに行ったイベントにも協賛スポンサーとしてイベントへの電力提供を行いました。

新分野の事業で川崎とともに発展 現在、三菱化工機では2035年に売上高1,000億円の目標を掲げ、次世代グリーンエネルギーなどの新しい分野での事業確立を目指しています。2024年8月には本社・川崎製作所の全面的な再整備を発表。事務所研究棟と工場実験棟を中心とした新しい施設は2027年に完成予定で、今後も川崎でモノづくりを継続し、川崎とともに発展していくことを目指しています。

新本社・川崎製作所の外観図(イメージ)➡



水素吸蔵合金タンクのケース(左)と燃料電池(右)



京浜急行電鉄株式会社

川崎市でまちも人も歴史も線路でつなぐ京急電鉄

「赤い電車」でおなじみの京急電鉄。京急川崎駅では、様々なイベントを通じて街の魅力を発信しているほか、同駅西口エリアの再開発や沿線の地域資源をいかしたエリアマネジメントに取り組んでいます。

遊休資産である駅ホームや電車を活用 京急川崎駅では通常使われていない大師線1番線ホームや電車を活用。京急川崎Jazzステーション、ステーションバルをはじめとする地域と一体となったイベントを継続的に開催し、川崎のまちを盛り上げています。

京急川崎駅西口が変わる 駅直結の高層ビル、新アリーナ 「川崎の玄関口」でもある京急川崎駅の西口エリアはこれから再開発が進められます。駅隣接地域には1万5000人規模の新アリーナ(バスケットボールBリーグ・川崎ブレイブサンダースの本拠地、運営母体である(株)ディー・エヌ・エー(DeNA)と同社による共同開発)を含む複合施設を開発し、スポーツや音楽、芸術文化の拠点を目指します。

沿線の魅力高めるnewcalプロジェクト 京急電鉄では、新しいローカルのあり方を地域と一緒に生み出し、その地域ならではの新しい魅力を発見し、より多くの人に届けていく構想「newcal(ニューカル)プロジェクト」を展開しています。川崎では京急本線八丁堀駅前に地域交流拠点を開設し、まちの人たちに使ってもらえる場を作って活性を図っています。今後も大師線沿線や、川崎大師の歴史、多摩川の魅力などをいかしたエリアマネジメントの取組を推進します。



新アリーナを含む複合施設のイメージ



生活事業創造本部の小松さん(左)と新しい価値共創室の沓澤さん(右)

JFE スチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区） JFE 「最後の鉄」から次の100年へ、脱炭素社会を先導するまに

JFEスチール東日本製鉄所（京浜地区）は、100年以上にわたり京浜工業地帯、そして日本経済の発展の一翼を担ってきました。2023年9月に高炉は休止しましたが、「下工程」と呼ばれる鉄を薄く延ばしたり成形する業務など製鉄事業はこれからも川崎の地で続いていきます。

広大な跡地で生まれる新たなイノベーション 製鉄所の上工程を中心とした広大な跡地では、大規模な土地利用転換事業が進められています。南渡田北地区北側は研究開発機能を中心としたまちづくりを進めています。扇島エリアでは次世代インフラとして水素などの供給拠点を形成することで、地区全体のカーボンニュートラルを目指します。ほかに、次世代モビリティをはじめ未来を体験できる空間の創出や首都圏防災に貢献する機能の導入などが土地利用構想には織り込まれています。世界に先駆けた革新的な技術がここ扇島から生み出されるような、次世代をリードするエリアを目指します。

地域とともに新たな挑戦 JFEと川崎市が共催する「ふれあい祭り」は2005年から始まった地域に根付いたイベントで、毎年多くの市民が集い、地域とのつながりを大切にしている取組の一つです。市民や行政、関連企業と連携し、地域とともに歩んできたJFEスチール東日本製鉄所は現在、時代の大きな転換点に立っています。その中で、長年の鉄づくりで培った経験を武器に、変わらぬ誇りと情熱を携えて、次の100年に向けた新たな取組に挑戦します。



2050年想定扇島地区のイメージ



ふれあい祭り2024

株式会社東芝 TOSHIBA 日本初・世界初——。『東芝』の技術が川崎市から未来を拓く

蛍光灯をはじめ、発電・送変電機器、上下水道や鉄道交通システム、半導体・HDDに至るまで、日本初・世界初の製品や技術を数多く開発し、人々の生活を支えてきた『東芝』。東芝は、市制100周年のその先へと歩みを始めるここ川崎で、未来を拓く新たな歴史を刻んでいきます。

開発・製造拠点「堀川町工場」の面影、今も。 1908年に前身の東京電気が川崎駅西口に構えた「堀川町工場」は、約100年にわたり東芝の開発・製造拠点の役割を果たしてきました。その跡地に誕生した「ラゾーナ」には、工場の歴史を見守り続けた桜の木など工場の歴史を感じる面影が残されています。

2025年、本社を川崎へ。『まだ見ぬ世界の技術』 2024年2月に新たな研究開発拠点として幸区小向東芝町に開設した「イノベーション・パレット」には、東芝の多様な人材と技術を集約。部門を越えたコミュニケーションから斬新なアイデアを生み、イノベーションやソリューションにつなげるオープンで多様な環境を整備しました。さらに2025年には、浜松町にある本社の川崎市への移転を決定。企業ビジョンに掲げる「カーボンニュートラル（脱炭素社会）」と「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」の実現に向け、川崎の地から未来に向けた事業を展開していきます。

市民と躍動！スポーツを通じた地域交流も スポーツ分野でも注目を集める東芝。都市対抗野球の名門「東芝ブレイブアレス」や、ラグビーリーグワン2023-2024シーズンで初優勝を飾った「東芝ブレイブルーパス東京」が、子ども向けスポーツイベントなどを通じて、今後も地域交流を深めていきます。



イノベーション・パレット外観



リーグワン初優勝を飾った東芝ブレイブルーパス東京

株式会社ミットヨ Mitutoyo 川崎から世界のものづくりを支え90年、地域・社会と共に未来へ

高津区に所在するミットヨは、世界有数の精密測定機器の総合メーカー。携帯電話からロケットまで、様々なモノの開発・製造に「測る」技術が貢献しています。創業90周年を迎えた2024年10月には、地域に感謝を伝える記念感謝祭を開催し、能登半島の被災地への復興応援イベントなどを行いました。

企業の社会的使命を ミットヨでは、大規模自然災害による大きな被害が発生した際の基本的な考え方を定め、被災地へ迅速に支援できるようにしており、能登半島地震でも被災地の方々への物資支援を行いました。今回のイベントでは能登の特産品を販売、社員や市内17校の中学生などからの応援メッセージで被災地を応援する気持ちを示し、イベントを盛り上げました。

川崎の「ものづくり」を若い世代に 現在の本社は、1940年に「溝ノ口工場」として操業開始した生産開発の拠点。1993年に本社機能を集約して以降、次世代を担う子どもたちが技術やものづくりに興味・関心を持つきっかけとなるよう、様々な地域貢献活動を実践してきました。

90年の歴史に変わらぬ「測る」技術への思い 創業当初からの「世界最高品質のものづくり」「強いこだわりを持った技術」で、現在のグローバルカンパニーとしての立ち位置を確立したミットヨ。2034年の100周年という次の大きな節目に向け、新たな価値を提案するソリューションカンパニーとして進化すべく、今後も「測る」という課題に向き合い取組を進めます。



ミットヨ創業90周年記念感謝祭



能登への応援メッセージを囲む
総務部担当と若手メンバーの皆さん

全国都市緑化かわさきフェア 春開催!



Green For All
KAWASAKI
2024

花満開!
春に、
逢いに行こう。



全国都市緑化かわさきフェア

3月22日(土)～4月13日(日)

会場 | 富士見公園・等々力緑地・生田緑地 ほか

各会場では、花やみどりはもちろん、様々なイベントや飲食が盛りだくさん!

春の魅力を感じる会場で、皆様をお待ちしております。

富士見公園

多様性 × みどり

次の100年に向けて、川崎がめざすみどりの
まちづくりを実現する技術や考え方を発信



富士見公園会場
デジタルマップ

等々力緑地

体験・体感 × みどり

広々としたみどりの中で様々な
アクティビティやスポーツを体験



等々力緑地会場
デジタルマップ

生田緑地

歴史・文化 × みどり

緑地の自然美がベースの会場で、
文化・歴史・アートで紡ぐみどりの価値を体感



生田緑地会場
デジタルマップ